

◆◆◆◆◆ 平成27年第2回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆◆

※これ以外の議案等はすべて可決です。

議案等の内容	議員名											結 果	
	櫻井 一隆	後藤 勲	熊谷 善行	深見 迪	黒沼 俊幸	松下 哲也	川村多美男	渡邊 定之	鈴木 裕美	平川 昌昭	本多 耕平		菊地 誠道
2015年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	原案否決
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	原案否決
憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と関連法「改正」反対を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	原案否決
オスプレイの運行を即時中止し、新たな配備計画を撤回することを求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	原案否決
憲法を守り、日本を海外で戦争する国にする戦争立法の廃案を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

「憲法を守り、日本を海外で戦争する国にする戦争立法の廃案を求める意見書(案)」

賛成討論 深見 迪 議員

この意見書案は、安全保障法制関連法案に反対し、憲法9条を守り日本の平和を守ることとを求める内容です。安倍政権が提出した安保法制は、日本を「海外で戦争する国」につくりかえる「戦争立法」というのが、その正体だと思えます。これは、いつでも、どこでも、どんな戦争にでも、あらゆる形で、自衛隊がアメリカの戦争に加担できるようにするものです。政府自身、このことを「切れない対応」としています。

自民党の元幹部の人でも「これは戦争法案である」とし、「恒久法は一番問題が大きい。自衛隊を世界中どこでも出していくことに反対だ。」と言いつつ切っています。また、自衛隊のみなさんのリスクも格段に高まるとも言っています。これは多くの国民が同じ思いだと思います。

この法案が憲法違反であることは、先に行われた憲法学者の参考人質疑でも明らかになりました。3人の憲法学者の中には、自民、公明両党と次世代の党推薦の学者もいましたが、自ら推薦した長谷部氏も「憲法違反である」と言い切っています。

私は、ふたたび政治の誤りによって、自衛隊のみなさんを海外に行かせ、戦死する危険に追いやること、また、外国の人の命を奪うようなことがあつてはならないと思えます。戦後70年続いてきた日本の平和とそれを支えてきた憲法九条を、そのまま若者や子どもたちに引き渡すことが政治の任務であると考えます。

今、日本の平和を守るのか、それとも戦争の危険に突入するのか大事な選択に迫られています。党派を超え、思想信条の違いを乗り越えて、日本の平和を守るため本意見書案に賛成していただくことを強く訴えまして、私の賛成討論と致します。

全道議員研修会に参加

7月7日、札幌で、北海道議員研修会が開催され、標茶町議も研修に参加してきました。

内容は、中央大学名誉教授・今村都南雄氏と、テレビ朝日コメンテーター・川村晃司氏の講演でした。

今村氏は、2100年の人口推計が5000万人台〜6000万人台(内閣府)になることを示し、高齢社会、少子化社会の日本をどうするべきかについて話しました。また、1,025兆円という超巨額の国の借金について、これは財政危機のギリシャの比ではないこと、また、地方創生によって、世界に誇るべき「地方交付税制度」が人口減により少なくなり、逆に地方の存続が危がまらることについて述べ、「急激な人口減少時代に直面する町村議会の使命」について話しました。

また、川村氏は、「政治は生活の片隅にあるのだ」と述べ、安保法制や農協改革への疑問について話し、これらの重要な法律は、全ての市町村の意見を聞くべきであり、市町村も自分たちの声を国政に届けるべきではないかと参加した町村議員に投げかけました。



第二回定例会 議会云日誌から

四月九日	広報調査特別委員会
五月八日	第二回臨時会
六月一日	川上郡衛生処理組合議会
六月一日	釧路北部消防事務組合議会
六月五日	議会運営委員会
六月五日	釧路公立大学事務組合議会
六月九日	全員協議会
六月九日 ～十日	第二回定例会
六月九日	総務経済委員会
六月九日	厚生文教委員会
六月九日	議会運営委員会
六月十日	広報調査特別委員会
六月二十四日	広報調査特別委員会
七月一日	広報調査特別委員会
七月七日	全道議員研修会

たんちょう大学交通安全教室



編集後記

町議選が終わわり、新しいメンバーで編集した初めての「議会だより」をお届けします。

町議会第二回定例会では、国からの地方交付税1億1、500万円、道からの補助金3億1、800万円、町債7、600万円などの歳入補正で、約5億3、000万円の追加補正がありました。

このうち、国保会計に3、500万円を繰り入れ、国保税の値上げを抑えることや農業振興に3億1、800万円を追加するなど、福祉、農業振興の補正予算が目立ったものとして挙げられます。

議会では、新人議員を含め7名の一般質問、5名の予算案に対する総括質疑が活発に行われました。また、意見書も6件提出されました。選挙後の初議会ということもあってか傍聴席も満席になるほど町民のみなさんが来てくださいました。

「議会だより」の編集は、「標茶町議会広報調査特別委員会」を設置し、6名の広報委員で行います。二年間の任期ですが、できるだけわかりやすく、議会の内容をお知らせできるように努力したいと思います。是非お寄せ下さい。

- 委員長 深見 哲也
副委員長 松下 一隆
委員 櫻井 俊幸
黒沼 美男
川村多美男
菊地 誠道